

# 令和5年度第2回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会 議事録

- 1 開催日時 令和5年11月22日（水）午後7時から
- 2 開催場所 南箕輪村役場 講堂
- 3 開会
- 4 委員長あいさつ
- 5 第1回持続可能な自治会検討委員会まとめ  
ワークショップまとめ  
検討補助委員からの意見
- 6 ワークショップ  
行政協力業務重点課題の抽出・発表
- 7 次回の日程  
日時 12月14日（木） 午後7時  
場所 講堂
- 8 その他
- 9 閉会

10 出席検討委員

西森一博	征矢 章	河野道夫	山田 茂
唐澤正吉	篠澤 哲	中山 隆	植田 学
小出俊一	志野英男		

11 出席検討補助委員

木下 茂	三澤 稔	大日方音巴	
------	------	-------	--

12 欠席検討委員

--	--	--	--

13 村長

藤城栄文			
------	--	--	--

14 副村長

田中俊彦			
------	--	--	--

15 出席事務局

清水勝宏	山口みずき		
------	-------	--	--

16 欠席事務局

池田友美			
------	--	--	--

<p>清水勝宏</p>	<p>会議次第1. 開会 皆さん、こんばんは。一日お疲れのところ、検討委員会にお集りいただきましてありがとうございます。私、前回出席できませんでしたけれども、総務課長の清水と申します。よろしくお願ひしたいと思ひます。それでは、全員委員の皆さんにお集りいただきましたので、只今から令和5年度第2回南箕輪村持続可能な自治会検討委員会を始めさせていただきますと思ひます。それでは、開会に先立ちまして委員長よりご挨拶をお願ひいたします。</p>
<p>征矢章委員長</p>	<p>会議次第2. 委員長あいさつ 皆さん、こんばんは。忙しい中ご苦勞様です。私、委員長ということで会議の進行だけはできますが、中身につきましては十分検討いただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。それでは事務局のほうからお願ひします。</p>
<p>山口みずき</p>	<p>委員長、ありがとうございます。では、資料の確認を事務局で行います。まず、会議次第が2枚ございます。資料1はA3のものが1枚。資料2、A4のものが1枚。資料3-1、A4の物が1枚。資料3-2が両面印刷で9ページまでございます。足りないもの等はございますでしょうか。 では、3と4につきましては委員長の進行でお願ひいたします。征矢委員長お願ひします。</p>
<p>征矢章委員長</p>	<p>会議次第3. 第1回持続可能な自治会検討委員会まとめ ワークショップまとめ 第1回持続可能な自治会検討委員会のワークショップのまとめということで、この間2班にわかれて検討していただきましたが、今日につきましてはお手元に配られた資料を使いまして進行していきますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>山口みずき</p>	<p>ありがとうございます。では、会議資料1のワークショップのまとめにつきましては委託業者のローカルライフさんより説明を行いますのでお願ひします。</p>
<p>松澤清和</p>	<p>改めまして、こんばんは。お忙しい中お集りいただきまして、ありがとうございます。資料1の第1回持続可能な自治会検討委員会ワークショップのまとめという資料をご覧いただければと思ひます。こちらが、前回皆さんにご検討いただきましたワークショップの内容を2班</p>

	<p>一緒にまとめたものです。大分類、中分類その横が課題で解決策または解決案で対象区は分類を混ぜているので参考に見ていただければと思います。まず、大きな分類として出されたご意見。区や組の加入について。ひとつは区に加入しなくても生活ができるような状況になっているというところ、高齢者や一人暮らしの方が区や組から抜けていく方が出てきているという話をいただいております。また、未加入者の方に対するメリット・デメリットというものが、なかなか表にわからないというお話や加入しない理由が「役員をやりたくない」「時間がない」「面倒くさい」といった話も出ています。その中で区の加入の必要性の周知が必要ではないかというお話が出されていきました。半分から下の段になります。こちらは区の在り方についてご意見をいただきました。区ごとのバランス、村の中での区同士のバランスに対しての不満が出ているところがある。次が組ごとのバランスです。こちらは各区の中で組の構成人数が少ないところと、かなり多いところとある中で組の編成を変えられない。多くなった組を分けたいが防災や衛生管理などの理由から、なかなか分けられないといった現状があるというご意見です。その下の活動の棚卸し、見直しという意味では役員の仕事が非常に多い。また、行事が多い。こちらはいいお話だと思うんですが、時代に合わせたイベント等の見直しを神子柴区等でやられているということです。また組外且つ区民の高齢の方で、配り物や雪かき、組の役ができないというお話もいただいております。で、災害時の対応。あと、区費について払わない方もいらっしゃるというお話もいただきました。裏面にいきまして大分類、役員の在り方です。こちらは役員の担い手不足、人を探すのが大変というところと、ひとつ役が回ってくるとその後ずっと役が回り続けてくるという現状があるというところ。もうひとつは役職自体の負担が多いというご意見が出されております。衛生面。ごみ捨ての部分と衛生部の状況。「なんで役員が全てやらなきゃいけないのか」というご意見もいただきましたし、実際ごみの分別に関して「アパートからのごみの分別がどのようなものが入っているか心配」や、実際分別ができていないという現状。不法投棄があっても、実際は誰かが片付けてくれているという現状。ごみステーションの管理自体は区の未加入者でもごみが出せているといった現状の中で今後の対応が必要かなといったご意見をいただいております。その下、ICT技術につきましてはキャッシュレス化がご意見として一つ出ています。また、インターネット・SNS等を活用した情報発信というところで、配り物や回覧板を SNS やホームペ</p>
--	---

山口みずき	<p>ージで代用できないかといったご意見。区の情報発信といったところでは村のホームページに区の情報コーナー、こちらの要望等を記載すればよいのではないかといったご意見。また区内・組内の情報共有については LINE 等のアプリを使うのも有効ではないかというご意見もいただきました。最後に施設につきましては、施設が老朽化して改修が必要とご意見をいただいております。以上で全部となります。ご説明ありがとうございました。会議資料 2 につきましては事務局より説明させていただきます。</p>
山口みずき	<p>検討補助委員からの意見 第 1 回の会議映像等を見て検討補助委員の方からご意見をいただきました。原文のまま載せてありますので目を通していただいて、今後の委員会の参考にしていただければと思います。3.については以上です。</p>
征矢章委員長	<p>ご説明ありがとうございました。全体としまして質問がありましたら、お出しいただきたいと思ひます。ないようですので、次に進めてください。</p>
	<p>会議次第 4. ワークショップ 行政協力業務重点課題の抽出・発表</p>
山口みずき	<p>では、今日のワークショップに移ります。進行はローカルライフさんをお願いします。</p>
松澤清和	<p>それでは、ワークショップに入りたいと思ひます。本日、皆さんにお願いしたいところがございます。まず資料 3-1 が本日のプログラムになります。資料 3-2 が今日の②③、行政協力業務の課題を見つけるといったプログラムの中でご協力いただきたい内容になります。今回は行政から各区に協力をお願いしている、依頼させていただいている業務をまとめさせていただきました。行政協力業務自体、3-2 の 3 番のシートを見ていただいて、完全に網羅されているわけではないと思ひますが、自治会に依頼が必要か左から 4 番目の項目に○がついているものは、今後検討を進めていくべきもの。○がついていないものに関しては、現時点で担当係が今後各区に依頼する必要がないと判断されているものとなります。現時点で 9 ページまで 120 項目の課題があり、これから全項目に目を通していただくこととなりますので 30 分ほどお時間を頂戴してご協力いただければと思ひます。今回、課題を</p>

	<p>抽出しますが、これが一番大事なところ、課題と感じているところ、例えば、「各区で負担に感じていること」や「この課題は大変だから役場をお願いしたい」といった視点で見ていただければと思います。それが今回の重要な課題というところに繋がっていきます。細かく全部に目を通していただくのは難しいと思いますが、皆さんがご経験された中で大変だったことやうちの区の自分たちだけでは負担が大きかったというものにマーカーをしていただきたいと思います。私が全体を読み上げます。一枚目だと『各種役員の推薦・選出・選任』という左上のタイトルを読み、続いて業務を依頼している名称を読みます。その中で例えば、民生児童委員の推薦が大変だったと思えば、そこにマーカーをしていただければと思います。また、役員の選出は全て大変だというご意見があれば一番上のタイトル『各種役員の推薦・選出・選任』というところにマーカーをしていただいて構いません。こちらのシートは私たちのほうでまとめ用にお借りしたいので一度回収させていただきます。後日、コピーした物を皆さんに郵送でお返ししますので、一番上の区と氏名欄に記入をお願いします。それでは今から 30 分ほど、お付き合いをお願いいたします。</p>
中山隆委員	<p>質問があるんですがいいですか。 ざっと事前にいただいた資料に目を通したんですが、大変だという観点と大変っていうのは大体重要って気がしたりして。今後省いていくことを念頭にやるのか、そのへんがわからなかったんです。見ていくと大変だったというのは地区でやらなきゃいけない、我々にとって活動の中心になる大事な活動の内容な気がして。そこらへんの区分けがわからなかったんですけど。</p>
松澤清和	<p>はい。私たちのプログラムの中に記載が少なく大変申し訳ございません。今回、省いていくほうというか、行政に「ここはお願いしたい」や、神子柴区でしたら「行事の準備は大変だったけど、これからも区でやっていきたい」ということはマーカーしなくて大丈夫です。今回の目的は行政協力業務の中で、どの部分をこれから省くのか、省略化していくのか、行政のほうで受け持ったり、もしくは ICT 化、デジタル機器を使って置き換えていくのかといった検討の内容になります。</p>
篠澤哲委員	<p>重なると思うんですが。事前に見てきたんですが、省くのありきで書いちゃうんですか？このワークショップで話し合っって、みんなの意見を出し合っって方向性を決めるんじゃなく、「自分としては、こんなのやめてしまえばいいんじゃないか」ってことでいいですか。</p>
松澤清和	<p>まずは個人の意見を書いていただいて、その後皆さんで話し合いをし</p>

志野英男委員	<p>ていただく流れになります。</p> <p>私も事前に見てきて、メモがありますし「5項目について抽出してください」という話だったので、抽出してきてますので。それぞれされてると思いますから、それを元にして話を進めたほうがいいんじゃないかと思うんです。大変だとか大変じゃないとかいうのじゃなくて今後10年間のコミュニティを考えた時にどういう形が望ましいのか、これをベースにして5項目に絞って考えてきてるんです。</p>
松澤清和	<p>わかりました。皆さん、どうですか。その作業は皆さんがご検討されてきてれば、なんですけれども。</p>
志野英男委員	<p>それを先に確認していただいて。無駄になっちゃうから。</p>
松澤清和	<p>そうですね、事前に。かなりの量があるので。</p> <p>(事前確認)</p>
松澤清和	<p>そうしましたら、1班は多くの方が見てきていただいていると思いますので直接作業に入りたいと思います。2班はその分もあると思いますので、違う形で作業を進めたいと思います。</p> <p>(ワークショップ)</p>
松澤清和	<p>はい、それでは時間になりましたので一回ここで発表の時間に移らせていただきたいと思います。</p>
志野英男委員	<p>私達1班のほうの発表をさせていただきます。まず仕事の量はかなり多いということで、今回総務から配られたやつだけ見ても123件ございました。依頼してくる場所も27箇所の窓口から区に依頼がくるといことで、とにかく仕事が多すぎると。それともうひとつは中身、全体像があまりにもよくわかっていない。このふたつがございました。そんなことで窓口の一本化。役場の窓口を一本化してもらうことによつて、かなり区長及び区の仕事量が軽減されるんじゃないかと考えました。それをやっていくためには、役場でも自治会担当の職員を作らないといけない、また育てないといけない。そしてそれをやった時に恐らく特定の職員にかなりの負荷がかかるということも想定されるので、その対応策についても役場で考えてもらう必要があるんじゃないか、がひとつです。それから、次に回覧物です。デジタル化をもつと進めて軽減していこうと。そのためには役場からのデジタル化だけではなく、区のほうもデジタル化しないとトータルで仕事は減ってきませんので、それぞれの区の規約ってものをデジタル化に合ったような整理をする必要がありました。それから区長のほうでいろいろな委員推薦があり、それも今回見せてもらっただけで39件ありました。かなり量が多いのと、本当に推薦する人が区長でいいのか、</p>

	<p>農業委員が区長でいいのか、農家が少ない中で。あるいは、一番問題になったのが民生児童委員ですけれども、これも区長は凄く苦勞している。だから、こういったものは役場が推薦する。区長は当然サポートしますが前面に立つのは役場から任命するといった形をとったほうが受け入れやすいですし、協力ももらえるということで進められるんじゃないか、ということで推薦者をもう一回委員によって見直したほうがいいんじゃないかということと、もうひとつは公募ですね。一般公募という委員もあってもいいんじゃないかと考えました。その中で、推薦の人数だとか制度の見直しを同時にやる必要があるんじゃないかということです。それからごみステーション。これについては、アウトソーシングでやっていったほうがいいんじゃないかということで話に出ていますので、そういうことです。その中でごみチケットについてはですね、チケットを配ったり回収したりといったことがありますので、目的に沿った方法に改善していったほうがいいんじゃないか。要するにごみチケットを配ることによってごみの量を少なくしようという発想だったと思うんですけれども、今はSDGsということでかなり意識が変わってきていますので、これはやめて進めたほうが仕事としては軽減できるんじゃないかという話がありました。以上です。</p>
	<p>(拍手あり)</p>
<p>松澤清和 中山隆委員</p>	<p>ありがとうございます。質問ありますか？ 質問というか、いいなと思ったのは、個人的な考えですけど民生委員の選出を村に任せるのは、とっていたんですが、区である程度の人をあげて村のほうからその人に依頼すると村から言われたらと受け入れるんじゃないかと感じました。</p>
<p>松澤清和</p>	<p>続いて私たちの班ですけれども、同じ意見は出ております。ひとつは役員を選出について、特に民生児童委員の推薦というところでかなりご苦勞があるというご意見が出ています。それとあわせて、3年2期というところが負担を大きくしている。3年1期でお願いしながら実際は3年2期やっていただいているケースもあるということで、期間に対する負担と、会議が日中あるということの負担。これによってなかなか推薦しづらいといった状況があるようです。交通部の役員に関しては、こちら作業量が多いということで寄付金を集めたり、白線引きなど多岐にわたる中で仕事の内容を伝えてからやっているが、なかなか、なり手がいない。あとは日赤です。こちらは正副団長の選出に毎回苦勞があるといったところです。この項目に</p>

	<p>はないんですが、保護司の推薦が大変だというところで。私たちの班の中では選ぶ手段や作業量、作業内容の工夫、軽減といったところ、実際どんなことが必要なのか役割を理解してもらい、対価をきちんと払うべきではないか、というご意見をいただいております。もうひとつが集金のお話でした。こちらは赤い羽根と緑の募金、社協会費の集金です。中込区は区費から支払っているの本人の集金はないということで、そういったやり方もあるのではないかと。必要でしたら区から出すような方策も検討していったら良いなというご意見をいただいております。防災関係につきましては、自主防災会の在り方、自主防災会自体かなり高齢化が進む中で新しい次代が入ってこないというところ。防災無線そのものが入る所と入らない所があるということで防災関係は全体を通して課題があるかなというところ。それに類似して消防団の確保、どこの地区も課題が大きく、団員の作業量の多さも課題になっているというお話をしました。衛生関係は先ほどの1班と同じような内容が出ています。ごみステーションの在り方、ごみに対する関心度をあげていく努力が必要なんじゃないかというご意見。あとアウトソーシングのご意見も出ました。村が主になってもらいたい。あと、区の未加入者の皆さんとの不公平感というお話もいただいております。そういった中で衛生部長や衛生役員の負担自体を軽減していくようなやり方も検討していく必要があるといったご意見をいただきました。2班の考えは以上となります。</p> <p>(拍手あり)</p>
<p>松澤清和</p>	<p>本日、私たちの班は最後まで進まなかったのですが、1時間半に渡り議論いただきましてありがとうございます。1班は一通り終わっているということですか？</p>
<p>春日利敬</p>	<p>そうですね。全体の中でスタートとしては10年後どうするかという視点でスタートしました。大雑把にまとまっているところもありますが、網羅したということでよいです。</p>
<p>松澤清和</p>	<p>わかりました。次回については少し検討させていただきます。2班はグループ内でもう少し検討を進めます。皆さん事前配布しました資料を持参されたと思います。まとめに使用させていただきますので回収いたします。お返しできるように名前をご記入ください。今日のワークショップの中でご質問などございましたらお願いします。</p>
<p>志野英男委員</p>	<p>デジタル化だとかアウトソーシングの話が煮詰まってきたと思いますが、役場のほうはそれを受けて実際調査するとか研究するとかそういったものはどんなふうになっているのでしょうか？</p>

藤城栄文村長	どうしても予算が関係するものがありまして、次の会議までに概ねの数字がここで決まればこちらのほうで予算をたてて研究を進めていくというような流れを想定しています。あくまでもここで決まったことをしっかり反映していきたいと思っています。
志野英男委員	グループや組織的なのを作っていただいてそこで具体的にどういう展開をはかるか、お金がどのくらいかかるのか等そういったことをやられるということですか？
藤城栄文村長	そうですね。そういうことをやっていきます。
小出俊一委員	小耳に挟んだのですが、塩尻市が同じようなことをやっていると聞いたので、そういった資料がないか、具体的ないろいろな削減とかどういものものを減らしているのか、もし調べられたらお願いします。
藤城栄文村長	塩尻市にお願いしてみます。上手くいっているのかいっていないのかも含めて、上手くいってなければ参考にして。
松澤清和	ほかは、いかがですか。大丈夫ですか。これで私たちの担当分は終わりとなります。ありがとうございました。
清水勝宏	<p>会議次第5. 次回の日程</p> <p>皆さん、ワークショップありがとうございました。今説明がありましたが、次回の日程ということで5番のほうに入らせていただきたいと思ひます。次回は来月、12月14日(木)7時から、この講堂で行いたいと思ひます。また、本日の会議を経た資料等を作成して事前にお送りできるものはお送りさせていただきながら、事務局のほうでも次回どういった形でいくかというのを詰めさせていただいて、委員の皆さんにご通知を出したいと思ひておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>日 時 12月14日(木)午後7時</p> <p>場 所 講堂</p>
清水勝宏	<p>会議次第6. その他</p> <p>その他の関係で何かご意見やご質問があれば委員さんのほうからお話いただければと思ひますが、どうでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
清水勝宏	<p>会議次第7. 閉会</p> <p>それでは、長時間に渡り大変ご苦勞様でございました。これで第2回の自治会検討委員会のほうを終了とさせていただきます。大変お疲れ様でした。</p>